

製品名: リン酸化 MSK1 (Ser376) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00698**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 90 kDa; Observed MW: 90 kDa

抗原情報

遺伝子名	RPS6KA5 RPS6KA5; MSK1; Ribosomal protein S6 kinase alpha-5; S6K-alpha-5; 90 kDa ribosomal
別名	protein S6 kinase 5; Nuclear mitogen- and stress-activated protein kinase 1; RSK-like protein kinase; RSKL
遺伝子 ID	9252
SwissProt ID	O75582
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

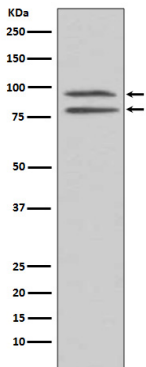
背景

セリン/スレオニンタンパク質キナーゼは、転写因子 CREB1 および ATF1 のミトジェンまたはストレス誘導性リン酸化、ならびに転写因子 RELA、STAT3、および ETV1/ER81 の調節に必須であり、ヒストンリン酸化による遺伝子活性化に寄与し、炎症性遺伝子の調節に機能する。UV-C 照射、上皮成長因子 (EGF)、アニソマイシンなどのミトジェンまたはストレス刺激にตอบสนองして、CREB1 および ATF1 をリン酸化します。

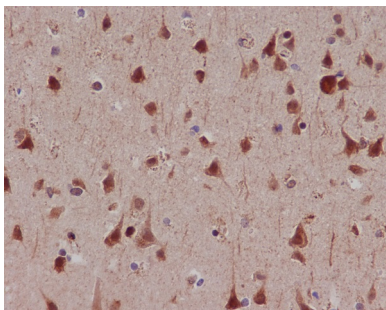
研究分野

シグナル伝達

画像データ



EGF 処理した HEK293 溶解物中の Phospho-MSK1 (S376) を Phospho-MSK1 (Ser376) 抗体を使用してウエスタン ブロット分析しました。



ホスホ MSK1 (S376) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。